



ADRC Highlights

Vol.67

Asian Disaster Reduction Center Biweekly News

April 1, 2003

➤ 第三回世界水フォーラムで ISDR・ADRC 共同セッション開催

第3回世界水フォーラム期間中の3月19日、京都宝ヶ池プリンスホテルにおいて、国連のISDR（国際防災戦略）事務局とADRC共催で、「Living with Risk - 効果的な防災を目指す」というセッションを開催しました。このセッションは、ADB（アジア開発銀行）が「水と貧困」のテーマでコーディネートしているプログラムの一環として企画されました。



サルヴァノ・ブリセーニョ ISDR 事務局長と小川雄二郎 ADRC 前所長・富士常葉大学教授が共同議長をし、マヌエル・デンゴ国連経済社会局水担当部長及び気候と災害対応準備センターのマドリーン・ヘルマー女史（国際赤十字・赤新月社連盟）が基調講演をしました。引き続き、8人のパネリストにより、気候や気候変動と防災の関係、持続可能な開発と防災の関係、水災害・干ばつに対する脆弱性とリスクの軽減などについて活発な議論が交わされました。水災害や干ばつを始めとする多くの自然災害に対応し、社会の脆弱性やリスクを軽減するための防災には、総合的な政策や適切な都市計画の必要性があり、また、コミュニティベースの防災活動や情報の共有などが大事であることなどが指摘されました。

上記の他、社会の脆弱性の軽減を計った水管理政策や水管理手法の実施や防災教育の重要性を強調する提言がアジア開発銀行を通じて閣僚会議に提出されました。第三回世界水フォーラムでの ISDR・ADRC 共同セッションについてのお問い合わせは、ADRC の角崎(tsunozaki@adrc.or.jp)までお願いいたします。

➤ ISDR タスクフォース 災害情報と脆弱性評価に関する WG に出席

3月10日から11日にジュネーブで国連のISDR（国際防災戦略）タスクフォースの災害情報と脆弱性評価に関する WG が開催され、所長の西川と主任研究員の荒木田が出席しました。この WG では (1) 災害情報データベースの精度を高めるための既存のデータベースの比較、(2) 世界災害統一番号である GLIDE (GLocal disaster unique IDentifier number) の促進、(3) リスクと脆弱性評価のための適切なインデックス、(4) リスクと脆弱性評価のためのツール、について議論されました。

この中で ADRC は、ADRC が提唱し OCHA ReliefWeb や CRED 等と普及推進を図っている GLIDE について、GLIDE の必要性とこれまでの活動の経緯説明、災害情報を容易に検索できる GLIDE Search の開発状況説明、災害発生後迅速に GLIDE を共有するための Automatic Generator や情報周知のための Report システムの提案を行いました。

WG ではデータベース共有ツールとして GLIDE が高く評価され、GLIDE の構造や運営方式について今後さらに詰めていくことや、GLIDENUMBER.net を GLIDE の情報提供サイトとして整備していくこと、国レベルの災害情報データベースを GLIDE 対応で整備するパイロットプロジェクトを実施すること、などが討議されました。

本 WG の詳細については、下記ホームページをご覧ください。<http://www.unisdr.org/unisdr/WG3objectives.htm>

➤ ADRC 事務所移転のご案内

アジア防災センターは、4月16日に「人と防災未来センター」2期棟の「ひと未来館」5階に移転します。この「ひと未来館」には、アジア防災センター以外に国連人道問題調整事務所神戸、国連地域開発センター防災計画兵庫事務所、地震防災フロンティア研究センターなどの防災関連機関が移転することとなり、世界的な防災拠点として機能していくことが期待されています。

4月16日事務所移転!



移転後の住所、電話番号、ファックス番号は以下のとおりに変更になります。

[4月16日からの連絡先]
 住所 〒651-0073
 神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2
 ひと未来館5階
 電話(代表) (078) 262 5540
 ファックス (078) 262 5546
 (E-mail アドレス、URL は変更ありません。)

➤ お知らせ: 職員の異動

3月末日に荒木正徳主任研究員が異動になりました。荒木氏は、4年間の兵庫県からの出向期間を終え、派遣元の兵庫県に戻り、防災局防災企画課に配属となりました。